

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	名古屋市中央療育センターみどり学園			
○保護者評価実施期間	2025年 2月 28日		～	2025年 3月 7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	32	(回答者数)	25
○従業者評価実施期間	2025年 2月 28日		～	2025年 3月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数)	10
○事業者向け自己評価表作成日	年 月 日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保育士の専門性が高く、通園担当看護師がいることで、医療面を含め子どもと保護者の状況把握と、相談等に対する対応や支援が細やかに行われている	・毎日の終礼などで、担任以外の子どもについても全職員で情報共有している ・看護師3名がローテーションで担当し、他1名が医師との調整や会議出席、臨時応援薬として4名全ての看護師が子どもの状況を把握し情報共有している	・保育士の研修参加等を促し、職員のスキルアップを推進する
2			
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所内での子どもと保護者に対する支援や取組はしっかり行われているのに対し、事業所外の職員や地域との連携や交流、きょうだいへの支援などが十分に行われていない	・センター内の他部門職員との連携が不十分 ・地域の保育園、幼稚園、他の児童発達支援センターや事業所、自立支援協議会等との連携と交流が不十分 ・きょうだい児への支援が不十分	・センター内の全職種（リハ、心理、CW等）と連携する機会（合同での会議や行事への参加等）を設ける必要がある ・地域の保育園、幼稚園、事業所や自立支援協議会等との交流や連携の機会を設ける必要がある ・きょうだい児のための交流機会を設ける必要がある
2	子どもの活動スペースが十分でなく、運動会等の全体行事や普段の活動が制限されてしまう 発熱や嘔吐などの子どもが発生した際に、感染拡大防止対策が十分に行えない	・園庭が狭い ・遊戯室が狭い ・専用の静養室がない	・現在の園庭と遊戯室以外に、子どもたちが安全に遊べるように（柵やゲートを設置する等）整備してセンター内の活用できるスペースを増やす必要がある ・専用の静養室を整備する必要がある
3	子どもの状態に対して十分な職員数とはいえないため、散歩など園外での活動が制限されてしまう	・職員数が不十分	・子どもの特性（未歩行、衝動性、こだわり等）に対して必要な支援を提供できるだけの職員数を確保する必要がある